

契約の内容

契 約 年 月 日	令和 8 年 7 月 8 日
契 約 業 者 名	令和8年度海外における多主体連携による流域環境マネジメントに係る調査検討業務 J W F ・ J I C E ・ R F C 設計共同体
契 約 業 者 の 住 所	東京都中央区日本橋箱崎町5－4アライズ第2ビル6階
業 務 の 名 称	令和8年度海外における多主体連携による流域環境マネジメントに係る調査検討業務
業 務 場 所	福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番7号
業 種 区 分	土木関係建設コンサルタント業務
業 務 概 要	計画準備1式、流域環境マネジメントの取組に関する海外の先進的な事例調査・分析1式、国内への適用方策に関する検討1式、事例集の作成1式、報告書作成1式
履 行 期 間 (自)	令和 8 年 7 月 9 日
履 行 期 間 (至)	令和 9 年 2 月 2 6 日
契 約 金 額	39,941,000円(税込み)

契約理由書

1. 業務件名 令和8年度 海外における多主体連携による流域環境マネジメントに係る調査検討業務
2. 履行場所 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目10番7号
3. 契約の相手方 住 所：東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アークライズ第2ビル6階
会社名：令和8年度 海外における多主体連携による流域環境マネジメントに係る
調査検討業務 JWF・JICE・RFC設計共同体
電 話：03-5645-8040
4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、流域総合水管理における「水でつながる豊かな環境の最大化」の実現に向け、流域におけるネイチャーポジティブの実現のための河川を基軸とした生態系ネットワークの形成や、水辺空間の魅力や価値の向上等を図る「流域環境マネジメント（河川環境整備・管理・利活用等）」について、主に海外における多様な主体と連携したマネジメント手法に関する取組の調査・分析を行い、日本の現場での実践や新たな政策立案に活用できるよう、適用方策を検討するものである。

2) 業務の内容

- ・計画準備 1式
- ・流域環境マネジメントの取組に関する海外の先進的な事例調査・分析 1式
- ・国内への適用方策に関する検討 1式
- ・事例集の作成 1式
- ・報告書作成 1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が20者以上あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を29者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書及び技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び「生態系ネットワーク形成や水辺空間の魅力・価値向上等を図る「流域環境マネジメント」の推進に資する汎用性の高い海外の事例集作成における留意点」に係る技術力を備えていると判断される。

特に「実施方針・実施フロー、工程表、その他」の「業務理解度」における目的、条件、内容的に的確に記載されていること、「その他」有益な代替案、重要事項の指摘が記載されていること、及び評価テーマの「生態系ネットワーク形成や水辺空間の魅力・価値向上等を図る「流域環境マネジメント」の推進に資する汎用性の高い海外の事例集作成における留意点」に対する技術提案について、与条件との整合性が高く、着眼点、問題点、解決方法等が理論的に整理され、提案内容に説得力があり、提案内容を裏付ける業務実績が十分に示されており、優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約の相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）

河川部 河川環境課長